



笑顔あふれる常盤小学校



笑顔とあいさつ、歌声あふれるわが母校

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」 ～生きる力・夢見る力の育成～

児童数 男子339名 女子331名 計670名 Tel 048-571-4923

深谷市立常盤小学校長 白井 裕一

児童の笑顔が学校に戻って半月たちました

常盤小学校では6月15日、分散登校から通常の学校の活動に戻ることができました。保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス禍の臨時休校中、大変お世話になりました。

お陰様で学校ではいつもの子供たちの笑顔が戻り教育活動を円滑に再開することができています。細かいところでは、給食は、普段より厳しい衛生管理を実施しているためおかずはいつもより品数が若干少なめだったり、音楽では、大声での歌唱が飛沫感染予防のためできなかつたりしましたが、今後徐々に元に戻し通常の教育活動を全面的に取り戻していく予定です。今後ご家庭と連携を図りながら児童一人一人に即した教育を推進して参りたいと存じます。よろしくお願ひします。



常盤小学校人権旬間の取組

常盤小学校では、6月29日(月)から7月10日(金)までを人権旬間として人権ポスターや人権作文・標語の作成などに取り組みます。30日(火)の放送による全校朝会で学校長による人権講話も行いました。

人権に関する最近のニュースとしては、アメリカのミネアポリスで、警察官に首をおさえられて亡くなったジョージ・フロイドさんの事件に関して人種差別への抗議デモが全米で起こったことが報じられました。国内でも、今から43年前、中学校1年生のときに北朝鮮に連れ去られた横田めぐみさんの父、横田滋さんが亡くなり、悲しみの声が広がっています。めぐみさんがいなくなり20年たって何人もの日本人が北朝鮮に拉致された疑いがあると報道されました。滋さんは被害者の会の代表として妻の早紀江さんとともに全国を回って拉致された人たちが一日でも早く帰れるようにと、うったえました。その後、北朝鮮は、めぐみさんを拉致したことを認めましたが、「めぐみさんは亡くなった」と伝えてきました。その時北朝鮮は、めぐみさんの遺骨を出してきました。しかし、日本で調べたところ、別の人の遺骨と判断されました。二つのニュースに共通することは、人の命の大切さと、人が自分で決めて幸せに生きようとする権利が守られていないということです。人権を尊重し誰もが幸せに暮らせる社会をつくることはみんなの願いなのです。

児童の皆さん、人権に関する問題を他人事と思わないでください。もしもクラスの中で困ったり悩んだりしているお友達に気づいたら、勇気を出してそっと寄添って励ましてあげてください。みんなが助け合える温かい学校にする上で大事なものは、ほんの少しばかりの勇気とやさしさです。

命があるところには、希望がある

勇気があるところには、希望がある

タキトゥス「歴史」より

タキトゥス 1～2世紀ローマ帝国時代の政治家であり歴史家。